

第3回 淀江IC周辺用地活用検討委員会 議事録

1. 日時：令和5年11月13日 15:00～16:30
2. 場所：大山町役場大山支所 会議室1
3. 出席委員：12人（欠席5人）
4. 議事概要：下表に示す

事務局（進行役）	1. 開会 ただいまより、第3回淀江IC周辺用地活用検討委員会を開催いたします。本日の会議資料については、「検討会のまとめ(案)」ということで作成をしております。事前にお配りしていると思います。本会議では、本案について議論を行うことが主となります。本会議の結果を踏まえて、「検討会のまとめ」を取りまとめ、上位部署へ提言していこうと考えております。
事務局（進行役）	2. 開会挨拶 それでは、開会の挨拶を会長の方より申し上げます。
会長	はい。去年の12月から始めて第3回ということで半年に一回みたいな仕事のペースで若干検討が早いんだか遅いんだか分からないような目標になっておりますけれども、いよいよ、今まで議論してきたことをまとめて形にして、大山町長にお返しできるという段階となりましたので、ある程度今までの議論はどういった形のものを皆さんに事前に見ていただきまして、今日は文章の形で成案を得ていくというような作業にしていきたいと思いますので、よろしくご協力をお願い致します。
事務局（進行役）	ありがとうございました。 本日の資料ですけど、お配りしておりますレジュメと、あらかじめお送りしております第2回の会議の議事録ともう一つ、「淀江IC周辺用地の活用の意義と活用計画について(案)」ということで、お送りさせていただいているかと思います。既に目を通していただいているかと思いますが、スムーズな会にしたいと思いますので、よろしくお願い致します。
事務局（進行役）	3. 議事 それでは議事の方に、会長の方、よろしいでしょうか。
会長	はい。今日の資料というのは専ら検討会のまとめといったところになるわけですが、もちろんそのもの全体を見て頂くというプロセスの前に、一応事務局の方でこんなものになりましたという紹介をお願いします。
事務局（進行役）	ありがとうございます。 特段活用案以外には資料をつけていないんですが、前回までのおさらいということで画面の方に映しております。ちょっと見えにくいと思いますが、第1

回の会議では目的だったり、現地の状況、大山町の施策等を説明させていただいて、自由なご意見をいただきました。活用方法のディスカッションでもって、様々なご意見をいただきました。対象地の位置的条件や広さを踏まえて、多くの人が体験、交流活動や営みができる場として活用することの可能性に対して期待されたため、活用すること自体は妥当であるということで進めております。続きまして、簡単になりますが第2回の会議になります。第2回につきまして、整備コンセプトといたしまして、大山町の豊かな自然環境やゼロカーボン社会に向けた取り組みだったり、観光戦略を反映し、多様な体験ができる観光のゲートウェイ、サイクリング拠点としての用地の活用を目指してはどうかということでコンセプトがありました。ご意見といたしましては、集客能力のある魅力的な施設を誘致してはどうかということ、集客施設の周りに地域の人が気軽に出店できるスペースを設けて、地域一体となって活性化を図る等の意見がありました。それから、対象地で具体的に何をするかについての意見交換がありました。山陰道の休憩施設であったり、アウトドアパーク・簡易型滞在施設であったり、フードパークであったり、地域防災拠点の案等が出てまいりました。その他といたしまして、魅力的な施設であったり、多様なニーズに対応する小規模施設を集客施設周辺に複数展開するであるとか、飛ばしますけれども、物販施設、周辺特産物や大山ブランドの出店、あとコワーキングスペースの確保等色々ありましたし、牛の駅などというような意見の方もいただいております。このような色々な意見を踏まえまして、提言書といたしましては、次の案の通り、事務局としてはまとめております。

お手元の方に事前にお配りしております議事の2の提言案の方に移りたいと思います。タイトルといたしましては、ここに書いております「淀江IC周辺用地の活用の意義と活用計画について(案)」ということでタイトルを決めさせていただいております。そして構成といたしましては、はじめにということで委員会の目的であったり、周辺用地の概要、大山町の現状と課題、大山町アウトドアライフ構想ということで書かさせていただきまして、2番目といたしまして、淀江IC周辺用地活用の意義と妥当性、対象用地の意義であったり、対象地活用の妥当性を検討いたしまして、最終的に提言といたしまして活用の方向性と具体例、それから発展の可能性と持続性のある運営形態ということで運用したらどうかということで案をまとめております。

実際に提言書の案ということで見ていただけたらと思います。1ページのはじめに、につきましてはこの淀江IC周辺の未利用地につきまして概要を書かせていただいておりますので、ご覧いただけたらと思っております。そして2番目ですが、淀江IC周辺用地の意義と妥当性ということで、3ページ目になります。対象用地ですが、約3.8haの正方形に近い広大な敷地になります。主要道路を連絡する県道淀江IC線に接続する平坦地、盛り土ではありますが、平坦地になっておりまして、前方に日本海へ降りる夕日や漁火、背面には秀峰大山を望むロケーションとなっています。現在対象地は、10年以上鳥取県さんが建設残土の仮置き場として活用はされておりますが、検討委員会では、対象

地が有する潜在能力や活用可能性を考えたらうで、対象地を多くの人が体験、交流活動や営みができる場として活用することは、大山町のアウトドアライフ構想および大山町が抱える課題解決方策としての方向性と一致するため、観光拠点・交流軸の整備により、新しい賑わいづくりが期待できるのではないかと考えております。あと妥当性などは、ご覧いただけたらと思います。4ページ目にまいりまして、ここが今回議論して、最終的なまとめとして議論いただけたらと思いますので、読まさせていただきます。提言案の1といたしまして、活用の方向性と具体例ということで、まとめさせていただいております。

①広さを活かしてはどうかということで、対象地は約3.8haの正方形に近い土地であり、その広さは中国地方最大級といわれる道の駅「西条のん太の酒蔵」を超えている。そのため、広さを活かし多様な機能を持つ集客施設や交流施設を展開することができる。加えて、防災ヘリポートを備えた防災広場として活用するほか、山陰道の交通障害発生時の車両の避難所や2024年問題に伴う運送車両休憩所などとして一定のスペースを提供し得るし、平時には大規模なイベント会場として利用するなど他所では計画が困難な利活用を提供できる場として整備することに十分な意義がある。

②ロケーション・地域特性を活かす、ということで、対象地は山陰道に隣接し、国道9号線にも近いので、交通結節点としての活用にも着目できます。大山へのアクセスや、近くは妻木晩田遺跡、淀江海岸へのアクセスに優れているという地域の特性を活かし、車両のみでなく、サイクルステーションなどサイクリングの拠点として整備することにより、近年ナショナルサイクルルートへの指定を目指した整備計画が進行しています鳥取うみなみロードや、大山町が進めております海側のサイクルロード計画と関連した活用が期待できるのではないのでしょうか。また、対象地は北に島根半島に沈む夕陽を眺め、夏の夜は漁火を、南に孝霊山、その向こうに大山を仰ぐ位置にあり、価値の高いロケーションとなります。RVパークやバンガローなど手軽に滞在できる宿泊施設を整備することで、周辺地域への連携誘導や観光入込客数の増加も期待できるのではないのでしょうか。

③エリアに不足するものを補ってはどうでしょうか。山陰道沿線について言えば、対象地の東側、鳥取方面から8.5km離れた位置に名和ICに隣接した道の駅がありますが、西に至っては山陰道沿いの無料区間、44kmに道の駅は無く、このエリアを旅するドライバーにとって休憩スペース・情報提供施設の空白地帯を埋める施設が望ましいのではないのでしょうか。また、2024年問題として長距離輸送トラックの休憩スペースを確保することが今後重要になってくることを踏まえると、交通結節点となる対象地に休憩施設を備えることも必要ではないのでしょうか。

それから、④といたしまして、他にない尖ったものを、ということで、上記の「道の駅」的機能が求められるほかに、対象地で展開する施設は、単に通過点として存在するのではなく、旅行者、地域住民双方にとって、それ自体が目的地となるような尖った機能、特徴、魅力を備えた施設であるべきではないのでしょうか。具体的には、鳥取県西部の魅力を活かした、ここでしか体験できない、いつ行っても楽しいアクティビティの体験施設や、大山ブランド「食」

会長	の魅力、鳥取和牛をフィーチャーするなど、押し出したサービスなどが挙げられます。また、SDG s の課題への取り組みとして、水素ステーションやソーラー発電施設などを設置したり、施設自体がゼロカーボン社会の実現への取り組みを示すエリアとなることが望ましいのではないのでしょうか。⑤といたしまして、地域と繋がり民間との連携で展開する交流の場にしてはどうでしょうか。民間投資によるキャッチーな集客施設を招いて、その周辺を地元出店者や特徴あるチャレンジショップの展開の場にするなど民間と地元の活力の相乗効果を促す試みも重要だと考えます。また、これらの施設を核としながら、地元の人々が集える場や多様な人材が集うコワーキングスペースを提供し、エリア全体として連携して活性化する交流の場とすることを目指してはどうでしょうかということです。⑥多様な政策課題に対応する連携機能はどうでしょうか。以上述べるように、対象地において適切な施設を整備することにより、道の駅的機能を果たすとともに、大山町のアウトドアライフ構想、鳥取県西部地域の観光及び大山観光の玄関口としてのツーリズム振興、鳥取うみなみロードなどのサイクリング拠点の提供、地域の交流の場の提供、鳥取県西部地域の防災拠点、さらには地域の商工振興など多様な政策課題に連携して対応することが期待されております。提言の 2) といたしまして、発展可能性と持続性のある運営形態を求めているということと述べております。①といたしまして、国、県、町の役割と地域の参加。対象地は国及び県の所有地となっております。大山町との間でどのような役割と管理の分担が行われるかは今後の課題となっておりますが、対象地で多様な魅力的施設が持続性をもって展開するには、民間と連携しながら地域住民の参加を十分に考慮した運営形態が望ましいのではないのでしょうか。②といたしまして運営管理しやすい規模からということで、多様な施設が集合する場としてその管理体制を考えると、運営・維持管理費と地元の人材活用を考慮する必要があると考えます。初期より対象地の全施設を整備する必要はなく、基本となるインフラ整備を行った上で、運営しやすい規模の施設整備から始め、空きスペースはパーキングや多目的広場として活用しつつ、将来の発展計画を可能にする暫定スペースとしてとらえることはどうでしょうかということを述べております。提言は以上なのですが、おわりにといたしまして、検討委員会といたしましては、対象用地の活用価値及びその活用の方向性を議論してまいりましたが、対象地の活用が現実のものとなるためには、国・県・地元自治体において検討されるべき課題はまだまだ多数あるものと認識しております。大山町をはじめ、鳥取県、国の行政当局において、対象地の活用についての協議が早期に開始されることを希望するというような提言でまとめております。 以上、読み上げの方をさせていただきました。 ありがとうございました。 それでは 1 ページ 1 ページ見ていただくんですけども、その前に補足を兼ねて今回の提案書(案)についてですが、全体の資料の名前を「淀江 I C 周辺用地
-----------	--

	の活用の意義と活用計画について」ということにしておきまして、ずばり何々という形にまでは絞ったものにしておりません。今まで2回の議論で何かに収斂したという形ではないので、あくまで検討会で話したことはどんな話でしたというようなまとまりになっておりますので、議事次第の方には提言書という言い方になっていますが、あくまで検討のまとめであるという風な位置付けが妥当ではないかという風に思っております。それから、本文の前にちょっと誤植もありますけれども、委員会から町長宛の提出文書のいわゆる鏡文というのも案としてつけさせていただいておりますが、この検討のまとめは何で、検討委員会として何を求めているかということの書き具合ですけれども、これは全体議論をして頂いてから確認をさせていただきたいと思いますが、全体として淀江インターを活用するというのは大前提で議論を進めてきたと思うんですけども、淀江インターを活用するっていうことについての意義と妥当性があるんだということは一つ明らかにしておかなければいけないのかなということ、それからじゃあ活用の方策には何があるのかという部分でいくと、色々な整備の仕方があるんですけども、こういうような形でっていうようなところでまとめたようなことになっておりますので、それがよろしいでしょうか、ということでご議論を頂きたいこと、それから鏡の中身と重複しますけれども、おわりにということで、っていうのがこの検討会が町長にこういう風に検討しましたと、まず大前提となります周辺用地が国、県の保有しているものであるということ踏まえると、こういうアイデアを前に進めていくためにどんなことが言えるかということ、大山町と国・県で協議を、こういうアイデアがあるんだよということ踏まえて、協議してくださいというところが一つの主的な見方なんだろうということで、このおわりにの部分は各議会の委員会での意見が出たものではありませんけれども、自分としてまとめるとしたらこういうことかなということで入れさせていただいております。それから9ページ以降は本文で出てくる話の後付けになりますアウトドアライフ構想の資料でありますとか、だいたい検討会やります、こんな成果でしたこういうメンバーでしたということを書いていただいております。という構成になっておりますということをご理解いただきました上で検討いただきたいと思います。それから、今日ご出席の方もいらっしゃいますけれども、欠席の委員の方から意見ということで頂戴しておりますが。
事務局（進行役）	はい。今日のレジュメの裏にですね、あらかじめご意見を委員さんからいただいておりますので紹介させていただきます。A委員からはですね、「実現可能なプランとして、RVパークとサイクルステーション、バンガローはよいのではないかと思います。できれば、コワーキングスペースも有料にして、サイクリングに来られる方へのパンク修理セットや空気入れ等も有料で完備する等、人を置くのを最小限にしつつ、利用者が気軽にお金を使える、そういう意識をもたせる施設のほうが、よりよいサービスになるのではないかと思います。」ということでご意見いただけてます。「人を置いても、目が行き届かないと意味

会長	がないので、コインや自動精算でも十分かと」とのことです。B委員は出席されてますのでまた後で紹介いたします。C委員の方からは「検討会のまとめ資料を確認させていただきましたが、当方が参加させていただいた回に議論されていた内容が盛り込まれていること、また、提言内容も私の考えに近いものになっていることを確認させていただきました。まとめていただいた資料に賛成で提言書として提出されることに問題ない認識である」とのことでした。D委員です。「敷地イメージについて、チャレンジショップなどはとても良いと思った。今はSNSのみで販売したまにポップアップストアを開く若い作家や、お菓子屋さんなどもあるので、SNSをうまく活用すれば集客が見込めると思う。また、学生等も出店出来れば楽しいだろうなと思った。高校時代に地域活性と言う授業でチャレンジショップをしたいという話が出た。大山ブランド、観光の活用について、紅葉シーズンや松明行列、和傘のイベント等で最近また、観光客が増えている気がする。また、9月の現代版牛馬市のイベントでXやインスタグラムでは話題になっていたのを車をメインの観光名所があってもいいのかな、と思った」とのことです。疑問に思った点といたしまして、「車等を使う人にとっては、立地はとてもいいしアクセスもいいと思うが、その施設が使える時間帯によっては不便なのでは、と思った。特にトラックやキャンピングカーにとっては深夜帯等で利用したいはずなのでその時間帯に管理人等を置くのか、など詰めるべきところはあるなと感じた。また、学生が行くにはものすごく不便だと感じた。自転車で行くには住宅街から若干離れてますし、若者が集まりやすいかと言われれば少し疑問に思った。」というようなご意見をいただいております。 はい。ありがとうございます。 以上のようなご意見も踏まえながら見ていきたいと思いますが、このページの具体的にここが不足だとか、事実と相違があるとか、そういったことについてご指摘いただいたり、文についてもうちちょっとこうしたらいいなという改善意見を頂くようなことで進めていきたいと思っています。 それでは、鏡文は後に回して、はじめにのところから見ていただきたいと思いますけれども、1ページ2ページにつきまして、いかがでございましょうか。はじめにの1の委員会の目的については、特に問題がないのかなという風に思います。2の淀江インター周辺用地の概要ということで、これはファクトが述べられていますけども、このまとめ全体で「国号9号線」なのか「国道9号」なのか、何回か出てきますが、若干バラバラの感じがありますので、「国道9号線」でいいですかね、に統一した記述にしておきたいと思っています。何か2)のところでございますでしょうか。よろしいですか。3)が大山町の現状と課題ということを書いてまして、繋がり具合としてどうかなという気もしなくはないんですけども。次に色々議論することの前提として、大山町で、次の4の導入ですかね、アウトドアということに繋がることをやっているということで書かせていただいております。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。4)
-----------	---

	が大山町アウトドアライフ構想というのがここに出て来るんですけども、下の段、巻末の方の資料にちょっと重複してるのではありますけれども、それは後で整理するとして、アウトドアライフ構想に関する記述の関係では何かご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。では、本質的なところの議論のページに入っていきたいと思います。3 ページの淀江 I C 周辺用地活用の意義と妥当性ということで、まとめておりますけれども、まず1 が対象地活用の意義ということで記しております。いかがでしょうか、何かご意見ございませんでしょうか。
委員	このページなのかっていうのは分からないんですけど。この検討委員会でやったやつを、県とか国に持って行ったら、使用許可が下りて町がやっていくっていう話ですよ。それとも県とかが、ここをこういう風に利用してくださいっていう提案なのか。大山町がこういう風に利用したいんで許可、許諾してくださいっていう。
会長	パターンとしてあるのは、そのようにいい考えがあるのであれば、土地は国が、あるいは県が売却する、あるいは貸与するような形でとか、あるいは国の色々なプログラムの中で、町がじゃあこれの下敷きにしてやりませんかということがあったり、そのところは色んなバリエーションがあると思います。ただ、町がこれについてそのまま、これをやりたいという正面突破もあると思いますけども、そのためには国・県としてもこの用地を活用することの意義があるのかということを十分に理解していただく必要がまず第一歩かと思われます。
委員	何が言いたかったかという、すごい大山町目線なんです全部が。大山町としてはこういうメリットありますよっていうことになってるんだけど、それが県とか国レベルだったら、そんなにやりたかったら勝手にやればいいんじゃないっていう。要は鳥取県においてもすごく意味のある場所だよとか、国においても。その辺の要素がやっぱり足りてないと、この先はねられてしまう可能性が高いんじゃないかなと思うんですよ。
会長	そこは活用方法の所に色々散りばめられていると思います。2024 年問題という全国で対応しなければいけないものへの対応の可能性がありますとか、鳥取県西部地域全体での防災の拠点でありますとか、それは必ずしも大山町がやることではない、けれども国なり県なりがこの用地活用するということがあって、その付随するものというか、それならばそれと一緒にということができませんか、そういうことが具体的に色々提言していただいているキーワードを繋いでいくとあるのではないかなと。いうことで国県と今後協議する形を取っていくんだとしたら、その辺りの所をお話をしていくキーワードにして協議なのかなと思ひまして、この形で行くということまでは、検討委員会でこの形がいいんだ

委員	ということであれば、そういう提言でもいいかと思いますが、色んな可能性は残しておきたい、取っておいてもいいんじゃないかなと思います。
委員	そういった考えで言うと、E委員は米子市の方として出てきますよね。で、米子市に対しては何かアプローチをかけるのかなと。それとも、米子市さんはまた別のアイデアでここを使う、隣で出されるのかというところが私は心配しているというか。なんだろうな、やっぱり米子市のE委員が来ていらっしゃるけれども何も言われなことがちょっと何か、すいません。
会長	ちょっと私もこの資料を事前に送って頂いて見させていただいたんですけども、防災広場とかソーラー発電とかパーキングとかあるいは集客施設だったりサイクルステーションがございますけれども、結局言ってしまうと、大山町さんが必要とされていて、どこかに整備しなくちゃいけないものを皆ここにまとめちゃったのねと。ただ防災的観点、3.8haでしたっけ、東京ドームに近いほどの大きさがあるので、ただ一つのところで活動をまとめるっていうのは、一つの考え方であると思います。米子市が最初お声がけいただいた時には、いわゆる観光重視した何かができないかというお話があったので、ちょっと私2回目は欠席させていただいたんですけども、第1回目に出させていただいた時に、ここに来るのが目的でなくて、ここから色んな所、大山寺であるとか淀江の史跡であるとか、色んなところに連れて行っていただくような、拠点なっしてほしい施設を担っていくような施設になっていくという、何かちょっとページ忘れたけれども、ハブ的な施設にするということがあったんで、それでよろしいかなと思っております。あと、ただこれから前に進むと色々議論されると思うんですけど、ちょうど5番のこういう全部をまとめるのも一つの案だと思うんですけども、これを引っさげて、ただちょっと何かぼや一としていて、何でもありみたいなものがあるんで、何か核となるような施設があつて、あとこういうものを整備しますよっていうスタイルでいいのかなという。1回目の牛の駅という、F委員が、お話いただいて、私はこれかなって思ったんです、個人的には。で、牛の駅って議事録に書いてあったと思うんですけど、それなら大山は3種のお肉を食べられる道の駅を整備しても私はいいのかなと、思います。以上です。

事務局（進行役）	その通りだと思ひまして、実際に整備するとなった時に米子市さんと協力しないとインフラ整備などできない場所だと思いますので、そこは書かせていただきたいと思ひます。
委員	観光拠点であるというそういう意識なんですかね。防災等もありますけれども。一つの例で。
事務局（進行役）	今回は観光を主でやっておりますが、色々な意見をいただいておりますので、意見を反映しております。
委員	あんまり気にしなくていいんじゃないですか。なんかその状況の組織があった時に淀江の人たちバツと出てくる。そういう感じになるのが一般的なのかなと思ひたんですけど。今だったら大山町寄り過ぎるのかなと思ひた時に、例えば皆生から、今皆生の海でカヤックやってる人たちもこれができることで淀江までカヤックで来られるとか、何かそういうもうちょっとダイナミックなアウトドアなんかもできるようになるといいなとか、そういうのが散りばめられていた方が、世界の風景が変わるなっていう感じがするのかなと思ひます。今大山町がほしいものを全部言つてった、まさにおっしゃった通りで、それだと大山町単独の事業感がすごくて、実はあんまり大きなことできないんじゃないのかなっていうのもちょっと思ひてます。そのニュアンスはもうちょっと何か最後の「おわりに」に一言足すだけというよりかもっとあった方がいいのかなと思ひました。
事務局（進行役）	ありがとうございます。おっしゃる通り本当に大山町だけのことでこの広さを活用しようと思ひたら十分なことできないのかもしれないかもしれませんので、鳥取県さんだったり米子市さんだったり連携しながらやらないと中途半端なものになってしまうので。特に対象地はほぼ淀江なのでこの辺の方の住民さんとのやり取りっていうのはすごく大事になってくるかなと思ひます。
委員	サイクルステーションとか、あとトイレなんかは、本当にないんで山陰道、絶対に必要だと思います。県の方ですかね。
会長	大山町に閉じないで、県西部地域、米子まで含めた所の、ポテンシャルがもっと発揮できるようなことも考へた方がいいというお話があったというのを、どこかに組み込んで書いていってもいいのかなと。
委員	大山町アウトドアライフ構想っていうのは、何かこだわっているんですか。大山町の政策との関連がちょっと多いのかなという印象でした。大山って鳥取西部広域ステーションみたいなそういう枠だったら、その先の広がりが生まれるのかなと思ひたんで。この文章の中に入れるよりももう少し何かこう、より強

	調した方がこの先に進展しやすいのかなと思いました。
会長	じゃあちょっと、工夫をさせていただきます。今どう書いたらいいっていうのはちょっと話ができてないんですけど。もっと広がりがあるものに。
委員	それこそ西部のハブになるようなそういう何か大きな事業に。
会長	どこを擁してるのか分かりにくい気もしているんですが、2) の対象地活用の妥当性で、ポテンシャル、妥当性で書いてある辺りについてはいかがでしょうか。
委員	この辺がもう少し何か妻木晩田遺跡とか、極めて超近隣の施設だけになってますけれども、もう少し範囲を広げた方が見栄えがするんじゃないかなって思って、考えましたね。
会長	では4ページで、具体的な提言となりますけども。4ページ5ページで、ご意見をいただきたいと思います。
委員	すいません。これ文章来て見てて、だいたい頭の中でイメージした感じかなというのはできました。色んなこと書いてあるんですけども、私はここでお金が発生して儲かるっていう事業よりは、人がとにかくここに集まってもらって、まずそれをして人がここ楽しいよねとか、すごいよね面白いよねってまず言ってもらうのが優先なのかなと思います。確かに、お金が掛かる事業もありますので、ゼロというわけにはならないと思うんですけども、そういった形でまずは人が集まってきたりとか、管理人を置くか駐車場どうだこうだあるんですけど、入場のゲートみたいなものを作って夜間はそっちの方で対応するとかっていう形にすればその点はいいのかなと。で、人員配置すればやはりそれだけコストが掛かってくるということもございますんで、その辺はまたちょっと検討していただければいいかと思います。本音言えばギュッとまとまってるより散りばった方が本当は、あそこ行ってみようここ行ってみようっていうのは本当はいいんですけど、場所的にも3.8haの場所の中で組み込むわけですから、ちょっとその辺はどうしようもないんですけども。多目的広場も何もなくていいと思います。芝もなくていいと思います。遊具なんていらないと思います。あと色々買えなるんで。子供たちって、遊具があればソリで遊んだりとか、色んなことで頭を使って遊びます。その辺はいいと思います。あと水があってトイレがあって、ちょっとした木陰があればそれで多分十分だと思います。この前、前回の会議で言ったんですけど、四国キャンプ行きました。無料のキャンプ場行きました。何組もいました。無料のキャンプ場が7ヶ所ぐらいあるんですけど、私も好きなんで、全部のキャンプ場を車で見て回ったんですけどそこそこいました。あそこはスノーピークの拠点があってそのキャンプ

	場也大賑わいでした。すごい良かったです。今流行りだからってことかもしれないんですけども、無料のキャンプ場でもやっぱりそんなに人は来ます。ただ水があってトイレがあればもう十分です。四国のキャンプ場ってそういう施設が無料なのにあります。水があってトイレがあって。それはやっぱりきれいな川があるからそれを汚したくないっていう多分県か町かのあれだと思うんですけども。やはり皆さん無料だとね、マナーがすごくいいんです。汚して帰つてるとこなんてなかったです。ゴミが散乱してることもなかったです。ですの で、無料にしたからそのゴミの心配等もあるかもしれないんですけども、ですけれども常識がある人が多いのかなという風に思いました。ですので、RV パークもいいんですけど、多目的の所に自分でテントを立てられる場所があったりとか、下があれば、一枚敷いてあれば全然立てられます、雨降ってもいけます。無料だと、予約しないでいいんで逆に人が来るんですよ。うちはもう、地域の農産物、道の駅行ったり、色んなその地域でしかないスーパーとか、コンビニでは買わなくて、地域のスーパー、ここで言ったら丸合さんやエーコープさん行って、地域の野菜とか地域の食材を買ってキャンプしますんで、そうすると地域の方にも多少なりともお金が落ちると思います。ここでお金が落ちるんじゃないくて、地域住民の人がした野菜とか色んなものでお金が落ちるのが理想的なんじゃないかなと。農協さんも大変なんで JA さんもあれなんですけども、エーコープさん本当はね使って、そういうようなところでお金が落ちて野菜が売れてってなればやはり僕は活用になるんじゃないかという風に思うんですけれども。ここで先ほども言われたようにハブとか、米子だったらここにありますよ、松江だったらこういうところがありますよっていう風なパンフレットが置いてあれば、観光客もそこを見て、じゃあ行ってみよう寄ってみようっていう風な形になるんじゃないかなと。非常に私はいいい案だなという風に思っていました。以上です。
会長	ありがとうございました。その他、何かありますでしょうか。 文章の方でうまく繋げてなかったところなんで、エリア不足、エリアに不足するものを補おうということで、名和 I C に隣接した道の駅が配置されてはいるものの、ぐらいい書いた方が良かったのかなと。それで、そうすると 8.5+44 の 52、3km っていう間に何も無いっていうのは、やっぱりよろしくないと思いますけれども。一般的にそうなんですかね？ちょっと自信がないんですがそう書いてしまうのはですね。
委員	それ違うと思います。
会長	そうですか。
委員	結局は、このいわゆる名和 I C のところの 8.5km っていうのを言い始めて、西の方に 44km 何も無いよって、結局 10km 弱しか違わないんですよ。44km 何も

	ないんですと。そしたらこの位置のある位置っていうのは、あんまり強調してもよろしくないんじゃないかなと。私全体的にいいと思うんですよ、言ってみれば、私ここで一番良かったなと思ったのは、ここに多目的広場を作ってこれを防災広場にしますよっていうことですから、例えば米子市さんがこの原発の35km以内のところはかなりありますから、30kmが40kmになったからいいとかどうなのかは別のこととしまして、ここに防災広場があってそれなりの施設をここに設けておいて、何か有事の時にはそこからポンと出ていくような設備を設ける、これはおそらくやるんだったら今こそ、施設を地下施設にして平べったい土地を作ってさえおけば、あとでどうにでもなるので、いわゆる防災施設っていうのは、ここ残土が埋めてあるだけですから、放り込んで、中の地下施設に、若干お金はたくさん掛かりますけれども、地下施設にしといて、上は野っぱらをパーキングにしたり、多目的広場みたいな形にしておいて、上の方に何も無いような施設が作れば理想的だなとは私は思います。全体的な作りとしては悪くないと思いますけど、先程も米子市さんの方からもありましたように、これは大山町で協議すべきものじゃないんじゃないかなという風には思うんですが、これはもっと広域のいわゆる今の商工所とかで作ってる西部広域で提言していくべき問題ではないのかなという思いは若干はしてます。大山町がこれを大山町として提言する、あるいは米子市と連携して提言する、というよりもやはり大山という広い圏域を考えた時には、西部広域で何らかの発言があって然るべきなんじゃないかという風に思います。この内容については取り立てて悪いとは思いませんけど、これを必要ですよというところがどんだけ必要ですよっていう、広がりがある人が言ってくれた方が実現される可能性があると思いました。以上です。
委員	この3番のところ、③なんですけども。今日は来てらっしゃらないんですが、やはり議員さんがそういう風に仰ってたのをそのまま使ってるんじゃないかなと。さっきG委員が言われたように、ここが中間なのかどうかというところでは、全然中間でも何でもないので、必要ないと私は思います。
委員	すいません。エリア不足っていうところで書いてありますが、エリア不足ではないと思います。何かその、距離的な部分では。道の駅もあるわけですし。何か別の言い方があればいいかなというところで。
委員	ちょっとよろしいですか。ここエリアに不足するものを補うっていうのは、ここに書いてあることは基本的に山陰道の利便性に関するところがここに書いてあるんですよ。だから今の確かに名和の道の駅はあるんですけど、ここおそらく今でもトラックが止まってると思うんですけど、ここを下りてずっと300mほど下りて再度こう行って回って上がっていくのに、山陰道の利便性としては非常に難しいっていうのかな、接続性が弱いような気がするんですよ。そうすると琴の浦の道の駅なんかだったら、それは比較にならないくらいトラック止

	まっていますから。そういう風な書きぶりをした方が、ここにこういう風なものを入れるんだったら、そちらの方がよろしいのかなという風に思います。
会長	距離の問題というよりは接続性の、乗り降りの問題ですね。あとは確かに名和インター下りた所であれば、スペース的に厳しいのかな、トラックでは。
委員	たまに止まっていますよね、2、3台はね。止まっていますけど、あそこで下りてぐるっと回って再度もういっぺん上がって来てるかと言ったら、ちょっと厳しい面はある。それは普通の乗用車でも一緒です。やはり隣接、そこから見えるところに施設があるのかないのかっていうのは、かなり有力なのかなっていう風に思います。
会長	その辺の整理についての話しましょうかね。
事務局（進行役）	多分エリアに不足するものということで道の駅が書いてあることが、道の駅はあるのに、というような話かと思います。道の駅ではなくて、その頼る駐車スペースであったり、そういうものが不足するのは分かるんですけど、道の駅が不足すると直接書いてしまうと、やはり語弊があるのかなというような意味合いじゃないかなと捉えます。
委員	逆に不足するものがあつたら、スタンドなんですよ。山陰道はずっとスタンドないんで、必ず下りないと給油できないんで。逆に電気でもいいですしガソリンでもいいですし、スタンドがあるといえぱそれだけで不足するものは全然補えるんですよ。だけどこれがなかなか大変なんでね。できないんですけどね。
会長	その他いかがでしょう。
委員	防災広場っていうのは、他に代わる場所はない？要はこれ、色んなことがありそうな感じがするんですけども、こうドクターヘリが下りたりとかとか、もし避難する人が出てそのテント張れそうな感じがする場所は、実はこう見えて他になくて、っていう。それとも、防災広場としても使えるんじゃない？っていうぐらいのノリなのか、それとも。要は重要度の高さ。
会長	防災広場は誰が整備するのかっていうところもありますけど、国なり県なりがそれらしいところに用地を確保できるかっていうところからまずあつて、それらしいところというのはおそらくアクセスがあつてるとされている必要があつて、って言った時に、色々候補地があるのかもしれないですけども、そのあたりは全く度外視してここいいじゃないってそういうもんなのかと。

委員	今はどこにあるんですか。
事務局（進行役）	防災広場と言いますか、大山町の防災計画といたしましては、普通に第一次としては校舎、学校の校舎であつたり体育館だつたりっていうのはありますので。淀江、ここの地区としての防災広場って言いますとやはり淀江の住民さんとか主になるのかなと、第一次的にはそうなるんじゃないかなと。場所的には、立地的にはそうなります。大山町としては一次的な防災広場として位置付けてるわけではないんですけど、避難所としては位置付けられております。そういう風のは、大山町にはあるのはあります。
委員	一応、淀江は支所が避難所になってるんですが。
会長	地域の人の避難所はそういう形でそれぞれあるんだけど、この委員会で出た議論をちょっと思い起こすと、島根原発がという話になって、それで多くの何万人の人がそういうような避難する場合に、そんな話の流れもありましたんで、特に地元の人というのは限らずに、人がここに集まらなくても色々な物資を中継したりする場所も必要であつて、ある程度スペースっていうのは、いつでも自由に使えることが許可されている必要が、防災関連ではあるので、既に国県が取得している土地がここにあつて、残土を取り除けばそれらしい平たいところが確保できるということからするとそれはそれで整備する意味があるのかなという。それを置く余裕がないほどこの3.8haを他のことに何か使った方がいいっていう計画があればまだ別な議論になるかと思うんですが。あれもありこれもありというスペースありますよという、そういうまとめになってます。
委員	確かに建てるのは簡単なんですけど撤退する時にお金が掛かっちゃうもんなので。私も2回目しか出てないんですけど、キッチンカーにしてもされる方が車を持って来てそこで販売する、ダメだったねっていったらそこは空きスペースになるんで、そうすれば他のことに使えるっていうのがやっぱり理想は理想なんですよね。設備投資かけなくて。どこまでするのか、最近多いのはキャンピングカーのトレーラーみたいな、あれをポンと置いてそこを調理される方の調理スペース、でそれだったら車で運んでしまえばまた売却できたり他にできることだったり、そういうような先々のコストが掛からないようにはしたいなというのは思います。メインの食べ物がプレハブっていうのはちょっとやっぱり格好が悪いんで大山町としても米子市としても鳥取県としても格好悪いんで、メインの建物はそれなりのものが必要かもしれないんですけども、それ以外はそんなに重要じゃないのかなという風には思います。
委員	H委員に聞きたいんですけど、あそこってキャンプ場として結構いいロケーションなんですか。

委員	車から山陰道通ってる時、見えないんですよ、実は。そんなに見えないです。ただ、音は気になるけど、本当は音がない方がいいんですけども、だけど今淀江の方から乗って帰るんですけど、こうなっててすごい今楽しいですよ。逆に平じゃなくて。これ一段落ちた所にテント貼りたいなっていうのは見えてます。更地じゃなくて。ちょっと秘密基地みたいな感じで、階段だけ作って下に下りて行って、そこでテント貼ってまた上がってとかっていうのはちょっと楽しいかなっていう風には思っています。あれが逆に、ちょうどいい高さから見て、上からもそんなに見えない、車で走ってる時は止まれないんで見ることもできないんでちょうどいいのかなと思って見て。で、この辺にやっぱりないんですよ。しようと思えるところ、キャンプ。かと言って人の山に勝手に入ってキャンプしても叱られるし、であればこういう施設がありますよ、キャンプ場じゃなくてもバンガローでもいいんです、泊まる施設があって、車で泊まれる方もおられますし、車狭いから置いてバンガローがいいなっていうのも、色んな2パターン3パターンぐらいあればできると思います。その前とか、沢田ベースって、あそこ行きました。大雨の時にうちだけで貸切って使いたい放題で。あそこ傾斜があって結構えらかったです。やっぱり小さい子供とかいるとちょっと大変なんですけど、そういうような形で行ってよかったなと。あそこだったら平坦が多分多くなってくると思うんで横移動が楽かというのは思います。
委員	H委員の言うそのキャンプ場がないっていうのは、無料のキャンプ場がないってことです。
委員	いや、無料じゃなくてもないです大山町。そんなに。
委員	下には少ない。
委員	下には少ないですね。上にはあるんですけど。
委員	ないってことはないですね。大山にはいっぱい。下には少ない。
委員	北栄町さんとか。
委員	ああそっか。
委員	あそこも道路沿いだけですけど多いですよ。やっぱり、アクセスがいいと行きます。 倉吉インターのところの道の駅あったところがあるんですけどその奥のところにキャンプ場ができたんですよ。あそこは多分道路から見てる見えだと思

会長	うんで、あそこは嫌だなと、逆に。すいません、勝手ばかり言いまして。 ということで、5 ページは写真ばかりなんで飛ばして、7 ページの発展可能性と持続性ある運営形態というところについて議論したいんですが。これ B 委員の方から運営形態ということは議論がそんなにしていし、運営形態にまで何か言うのか、というご意見をいただいておりますけれども、運営形態という言葉を書いたものの書いてある中身はほとんど具体的なことは特になくて、民間や地域住民の参加っていうのを考慮しろという要素と、小さくスタートして撤退しやすいということで考えろという 2 つのメッセージが入っているんですけども、その辺りの B 委員のコメントも含めてご議論いただきたいと思いますのですが、いかがでしょうか。
委員	私の意見としては、さっき言った防災とかそういうのは、これはもう行政の方がされるのかなと。他の施設はどこが管理しようが構いませんけれども、建物を施設によっては随意契約になる場合もあるかもしれませんし、そういった意味で、要はフリーにさせておいた方が、行政の方は動きやすいんじゃないのかなと、私は思っております。
会長	運営形態として書いているところは書かんでもいいんじゃないかという具体的なご意見ですが。
委員	よろしいですか。B 委員がおっしゃったことが分からんわけではないですけど、要するにここの施設が、商業的に使えるか使えないかの問題だろうなという風には思うわけですよ。ここの民間との連携ってあります、ただ、結局そこがコスト的に間に合うのか間に合わないのかの施設になるかならないかの問題なんだろうと思うわけです。そうであるならば、やはり施設はフリーにしておいて、使いたい会社の人が使いたいような形で使える施設を作れるんじゃないかなと。道の駅にしても、町が建物を建てるにしても、そこの管理を見れば、違うところが無償で全部管理もやる気がしますから、無償でその建物貸してくださいねっていうような運営の仕方がいいんじゃないかなと、私は思うんですね。だからこの書き方としては、このぐらい曖昧の方がいいんじゃないでしょうか。何というか、非常に公務員的というか。どうしても言い逃れできるような書き方であるから、いいのはいいんじゃないかなとは思いますが。
会長	公務員なものですから。
委員	書き方としては悪くないですよ。要するに後で考えましょうっていう話ですよ。
会長	保留事項だと。

委員	文章の最後だけ、フリーハンドで使えていいんじゃないですか。書き方としては、文章としては、これでいいんじゃないですか。
会長	まだ運営委員会の心配をするほどでもないかなと思います。 おわりにのところは、さっき言ったその、米子市さんとの関係とかその辺のところをここに反映するか別のところに反映するかっていうのが、ちょっと議題として残ってますけれども、言いたいことは「早期に国県と協議始めろ」という主旨なのでありますけれども、この辺りにつきましていかがでしょうか。特にございませんようでしたら、先ほどの米子市との関係のところ、ここで反映するかしないかということも、合わせてこちらの方にまとめていきたいと思います。
委員	米子市より鳥取の西部等連携というような書き方で。
会長	米子市と、ではなくって。
委員	西部広域の方がよろしいかなと。
委員	すいません。何でこんな話が出て、してない関係ない。何ができるか分からないようなのもあると思うんですけど。さっきG委員おっしゃったみたいにあそこの場所を商業施設として利用するにはどれくらいの整備がとかって、民間とのやり取りを行政が行っていくとか。やるのやらないのみたいな感じもするんですけど。
会長	実はあそこも要するに上下水道とかのインフラっていうのがまずないので、そのところの課題がありますねというようなことも書きたいところなんですけども、じゃあどれだけっていうとこまでここで議論をしていないし、当然国なり県なり町なり実際動かしていく、そのところの、そもそも残土をどこかす經費ってどうなるんだみたいなところも含めてやんなきゃいけないんで、それは言わずもがなかなということで、中途半端にならないものは書かないでおうかと、何も言及しておりません。
委員	そのまま緩い感じで提案して、まあまあ緩い感じでやってみたいな。細かいことは後に任せると。
会長	詰めるべき人が詰めると。個人的には、今止まっている車輪を、ちょっとつついて動かしていきたいと。そういうことになれば、というのが正直なところですよ。 では最初の、今おわりにということでご議論いただいたこととほぼ同じになる

	と思いますけれども、町長宛の鏡で、取りまとめの本文でも何でもありませんけれども、委員会全体の気持ちをここに体现できておりますでしょうか。これで大山町に特化した感じの書き方になると思いますんで……。でも大山町長に大山町以外のところを言うのも何か言いにくいのはありますけれども。 町長がここのところなんかしたいなと言って、知事に何とかしませんかって話に行くというスタイルもあると思うんですが、町長がそう思ってるんじゃないくて地域の人も、管理行政機関の人も、ここのところは活用の意義があるねっということを言ってくれているっていうことをベースにして、県に働きかけていくための燃料に、武器にした、きっかけにしたいということかなという風にご理解いただけたら。
委員	今十年以上ここ残土の仮置き場になってるんですけど、もしこの話がなくなった場合、また残土の仮置き場になるんですかね。それとも、国や県としても何とかあの土地を有効活用したいんだよね、なのか、いや別にいいよ、残土置き場でいいよなのか、やっぱそこによっても違ってくると思うんですよ。
委員	公共事業で土砂、残土がかなり出ます。処理費にかなり費用がかかるので、再利用する観点で、限られた仮置き場を活用でき、非常に有効利用している現場です。
委員	分かりました。ありがとうございます。
委員	共存みたいなのって難しいんですか。
委員	やっぱり工事車両が出入りしたりしますと、一日に何百台みたいな話になるため、そうするとやっぱり安全確保を考えたときに、小さいお子様の安全もありますし、仕分けはちょっと厳しい。分けるだけでは心配な方も多いのかなと、個人的には思います。
委員	別の場所が見つからないとなかなか。
会長	残土を置く場所をどうしようかっていうこともあれば、残土を使わなきゃいけない公共事業っていうのは、まだ色んなところにもありまして。その巡り合わせですよ。
委員	(大山町での県道改良計画があるため、残土の活用をある程度考えている。)
会長	あと全体を通しまして、ご意見ありますでしょうか。よろしいでしょうか。では今日いただいた意見を踏まえて再度修正させていただいて、最終案、町長に渡す前に共有します。

事務局（進行役）	修正を加えたものを送らせていただきたいと思います。大幅に皆さんの今日のご議論が全て活かされるわけではございませんが、こちらとして非常にくみ取った上で修正を重ねて、お送りして終わりにしたいと思います。
会長	これ説明をしてなかったんですけど、一応公表資料になるんですよね。
事務局（進行役）	提言書は、はい。
会長	ということでございますので、皆様のお名前の入った提言書の形で。少なくとも大山町のホームページに。これ読んで、じゃあこういう大事なことがって色んな人が考えてくださるのも必要なのかなと思うんで、公表的資料にしてもいいかなというようなことで進めたいと思いますが、よろしいでございますでしょうか。ではそのようにさせていただきます。 では進行を事務局の方に戻します。
事務局（進行役）	ありがとうございました。
事務局（進行役）	4. 閉会 本日は貴重なお時間いただきまして、ありがとうございます。本日踏まえまして内容を今回のまとめということで、提言を行いたいと思います。 以上をもちまして、淀江 I C 周辺用地活用検討委員会を閉会させていただきます。本当にありがとうございました。